

すぎはら

杉原地区ふるさとづくり推進協議会だより

第211号

令和3年1月15日広報委員会 発行

電話 455 - 2570 (杉原公民館)

E-mail:sugiharakouminkan@city.toyama.toyama.jp



杉原地区ふるさとづくり 推進協議会

会長 橋本 美義



皆様、新年あけましておめでとうございます。令和3年の新春を迎え皆様におかれましては、清々しく新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

令和2年は新型コロナウイルス感染症で明け、世界的にそして日本列島各地でも非常に重苦しく長い一年でした。

ふるさとづくり推進協議会の行事もおおかた中止になり、形をかえた講座を多少なりとも実施させていただきました。

コロナウイルス感染症は年明けもまだまだ続き、樂觀視は出来ないと予想されますが、コロナに打ち勝つ精神力で令和3年を過ごしたいと思います。ふるさとづくり推進協議会も従来の考えにとらわれず、「すぎはらの野」にしっかりと足を据えコロナウイルスを跳ね返し諸活動に邁進してまいります。新しい時代に新しい思考の基、変化を追従しつつ柔軟に積極的な活動を進めて行きたいと思います。地区の皆さんの斬新なアイデア、意見等お聞かせ頂くとともに更なるご協力ご支援をよろしく願いいたします。

～コロナウイルスにうつらない、うつさないをモットーに頑張りましょう～

結びになりますが本年が皆様方におかれまして、よりはつらつと健康で素晴らしい一年でありますように御祈念申し上げます。



杉原地区自治振興会

会長 中井 義則



新年明けましておめでとうございます。皆様にはお健やかに新年をお迎えの事とお慶び申し上げます。

昨年は、新年と共に誰もが経験した事の無い、突然と発生し

た新型コロナウイルスの為大変な一年となってしまいました。流行語大賞となった「3密」や「パンデミック」「クラスター」「アベノマスク」等々、コロナに関する新語が数多く生まれた子(ね)年でした。あらゆるイベントが中止や延期に追い込まれ、杉原地区自治振興会におきましても例外で無く、殆どの諸行事・催事を中止せざるを得なくなってしまいました。改めて感染症の恐ろしさを、身をもって体験して自分の身を守る大切さを感じさせられた一年でした。反面、素晴らしい出来事もたくさんございました。未知の宇宙へ向かい6年の月日を掛けて52億4千万キロを飛行し、小惑星からの石を採取して持ち帰った「はやぶさ2」の快挙に感動致しました。そして、令和2年に大関に昇進した「朝乃山」には、最高位の横綱への大きな期待がございます。

さて、統合中学校となる新八尾中学校の工事が着々と進んでおります。昨年12月迄、県や市、そして富山西警察署等、関係機関に対し通学路に関する数多くの要望書を提出して参りました。生徒達が安全で安心して通学できる様に要望をしたものでございます。防砂ネット設置の対応がなされ、いよいよ校舎の着工となりました。これまでに制服と校章は決まっておりますし、校歌の作詞作曲は「南こうせつ氏」にお願いする事になりました。令和4年4月開校となるその日を改めて住民の皆様と共に心待ちにしたいと思っております。

今年こそ、コロナ禍の終息を願って新しい丑年を杉原地区住民の皆様のご理解とご協力を頂きながら自治振興会活動に取り組み輝かしい年に致したいと存じます。

結びになりますが、おひとりお一人がご健勝で益々のご活躍とご多幸を心よりご祈念申し上げます。何卒、本年も宜しく願い申し上げます。

公民講座 の紹介



マスクスプレー&ハンドクリームづくり教室 9月24日(木)



アロマでリフレッシュということで、マスクスプレー&ハンドクリームづくり教室を開催しました。講師の【アジアンルームセラピスト】北川睦子さんにアロマテラピーのお話しをしていただいた後、2種類から好きな香りを選びマスクスプレーとハンドクリームをつくりました。まだ少々暑い日が続いていた時期だったのでマスクにスプレーすると、とても爽やかな気分になりました。

パワーストーンブレスレットづくり教室 10月22日(木)



大越仏壇富山店の本庄さんを講師に迎え『パワーストーンブレスレットづくり教室』を開催しました。はじめに仏事に関するマナー講座があり、皆さんが今まで疑問に思っていたことや分からなかったことを色々と質問されていました。パワーストーンは「紅水晶」「赤メノウ」「黒オニキス」「ターコイズ」「インド翡翠」の中から自分の好きなものを選びました。小さな穴に糸を通すのに多少手こずりながらも素敵なブレスレットを完成させることができました。



フラワーアレンジメント 12月16日(水)

マナコフラワーアカデミー【アトリエ masumi 主宰】村上真須美さんにお越しいただき『フラワーアレンジメント』教室を開催しました。ネコヤナギ・葉牡丹・シンピジウム・千両・松を使ったとても素敵なアレンジメントです。皆さん完成品に大満足されていました。室温と水の管理をしっかりとすれば、2月頃まで楽しめるということです。



健康ウォーク 10月10日(土)



健康ウォークを開催しました。台風接近のため天気が心配されましたが、なんとか持ちこたえ皆さん4.5kmを元気に歩きました。2022年4月に開校する八尾中学校の建設現場・白山社・立泉寺跡地などを見学しました。車で通りすぎるだけだった道や通る機会がなかった裏道を歩くことによって、いつもなら気付くことがなかったいろいろな発見があったようです。



第84回杉原いきいきサロン 11月18日(水)

杉原いきいきサロン



第84回いきいきサロンを開催しました。今回は新型コロナウイルス感染予防の為、午前のみでの開催になりました。NHK富山放送局「ラジオ富山人」に富山弁昔話で出演されている鈴木優子さんをお迎えし朗読会を行いました。「うさぎとかめ」「白雪姫」などを富山弁で話されると、よく知っている話が別の物語のようになり会場中が笑いに包まれました。朗読会の後は「杉原こども園」の園児たちによるかわいいダンスと体操を拝見しました。皆さん子供たちの身体能力の高さに驚かされていました。



令和2年度 春の叙勲受賞 おめでとうございます

瑞宝単光章 新村 憲作 氏 (井田)

富山市消防団副団長などを務め、地域の防災や団員の安全な活動に力を尽くされました。

杉原地区教育振興会からのお知らせ

杉原地区教育振興会では、高校生以下の生徒・児童の全国規模相当のスポーツ大会や文化大会に出場する人を応援しています。

(該当する方の情報把握が難しくなっておりますので、情報提供を地区センターまでお願いします。電話 455-2570)

第72回日本ハンドボール選手権

倉田 明武 (高3)



高校3年間最後の大会で、支えてくださった方々への感謝の気持ちを忘れず、全力でプレーする事が出来ました。

ジュニアビーチボール YATSUGO カップ 2020 大会 12月6日(日)

『杉原ジョーカーズ』と『杉原キング』の2チームが出場しました。新型コロナウイルス禍のため、思い通りに練習ができず歯がゆい思いをしたのですが、試合では一生懸命頑張りました。



杉原ジョーカーズ



杉原キング

委員長のひとりと

新薬とジェネリック薬 舟木智洋

みなさん、お元気でしょうか？

今回も身近なおくすりのお話しておつきあい下さい。

さて、前々回のお話で、国の医療費が増えているということに少しだけ触れましたが、今回はそのことに関連するお話をしましょう。

本題に入る前に、まずは医薬品の分類のお話から。医薬品というのは大きく分けると、一般用医薬品と医療用医薬品とに大別することが出来ます。

このうち、一般用医薬品というのは別名「大衆薬」とも呼ばれていて、このお薬は必要なときにドラッグストアなどに行けば、何の手続きも無しに普通に購入できる医薬品のことを指します。風邪薬とか、胃薬などがこれにあたります。

一方、医院や、病院などで診察を受けた際に処方箋が発行されますが、その処方箋に基づき入手する医薬品や、入院時に使用される医薬品のことを医療用医薬品と言います。医療用医薬品は、一般用医薬品よりも効能が強いとされており、副作用が出るものもあるため、処方箋などによって管理されたお薬になってきます。

この、医療用医薬品には、さらに分類すると、新薬と後発薬(ジェネリック薬とも言います)に分けることが出来ます。(図を参考にして下さい)

このうち、新薬というのは、医薬にメーカーが膨大な開発費用をかけて販売した医薬品のことを指し、新発売から一定の期間はそれを開発したメーカーだけが販売できるという特権が与えられます。開発したメーカーはこの特権が効いている期間中に出来るだけたくさん販売して、開発にかかった費用を取り戻し、次の新薬の開発につなげていくことになります。

しかしながら、その特権期間が過ぎると、開発メーカー以外の製薬会社も同じ成分のお薬を作ることが出来るようになり、それらは、後から発売されるという意味合いから後発薬、現在ではジェネリック薬と言われています。ジェネリック薬は、開発費用があまりかかっていないため新薬よりも安価に製造できることから、日本では、増え続けている医療費の抑制策として、ジェネリック薬の普及に力を入れて

いるところですが、薬を消費する私たちにとっても、安価でお薬を入手することが出来るので、医療費に余りお金をかけたくない方にとってはうれしい選択肢になります。

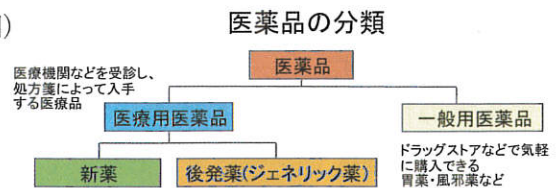
でも、問題は、単純ではなく、この方策にもいろいろと課題があります。ジェネリック薬は、新薬と同じ成分で作られているということは事実ではあるのですが、新薬と製造方法が全く同じというわけではありません。医薬品の製造方法は特許情報として文書で公開されていますが、製造に際しての細かなノウハウまでは公開されません。ですので、有効成分の粒度や添加される添加剤の種類や調合割合の細かいところは、それぞれの製薬メーカーが独自で開発しなければなりません。そのため新薬と、ジェネリック薬では薬の効き方が異なってくる可能性があります。医師の中には、そのことを心配され、処方箋に「ジェネリックを認めない」旨の記載をされる方も少なからずいるとのこと。ジェネリック薬のほうが新薬よりも薬の効きが良くなる場合もあれば、逆に悪くなる場合もあるということになりますが、薬に関しては、よく効けば良いと言うことは一概に言えません。一定の時間長く持続して効果を現すことで症状が緩和される場合も多々あり、よく効く薬でも効果が短くなれば問題ですよね。

それから、価格が安いことでも問題が起きようとしています。ジェネリック薬が普及すれば、その分新薬が売れないということにつながります。新薬が売れなくなると、新薬のメーカーは開発費を回収できなくなるので新たな薬の開発費を捻出できなくなり、その結果、治療方法が無くて苦しんでいる患者さんに新たな効能のお薬が提供できなくなるという問題が出てきます。

実際にここ数年は新しい効能のある新薬の発売数が減少している状態です。そのため新薬メーカーは統合・合併などを行いながら生き残りを図ろうとしているのが実情です。これらの問題もお国としてなんとかしてもらいたいところですね。

それでは、今回はこれまでとしましょう。

(図)



我が家のペット紹介



左:ハッピー(8歳) 右:ラッキー(5歳)

今回は杉田の和菓子屋『柳澤屋』さんの看板犬を紹介します。グレートピレニーズのハッピー&ラッキーです。ハッピーにさわると幸せになり、ラッキーにさわるといいことがあるということで、二匹に会うために来店されるお客様もいらっしゃるそうです。看板娘の結月ちゃんと一緒にお店を盛り上げるために日々頑張っています。

富山県内の公民館の情報が掲載されています。杉原公民館で開催される行事のお知らせや、その時の様子なども載せています。

<https://www2.tkc.pref.toyama.jp/kouminkan/>

富山県内のすべての公立公民館サイト

とやま公民館 学遊ネット

1月～3月行事予定

1月下旬 手打ちそば教室 中止
3月7日(日) 春季清掃(赤・紫)

杉原地区 人口 6,906人(6,962人) [令和2年11月末日現在]
世帯数 2,446戸(2,425戸) ()内は昨年度